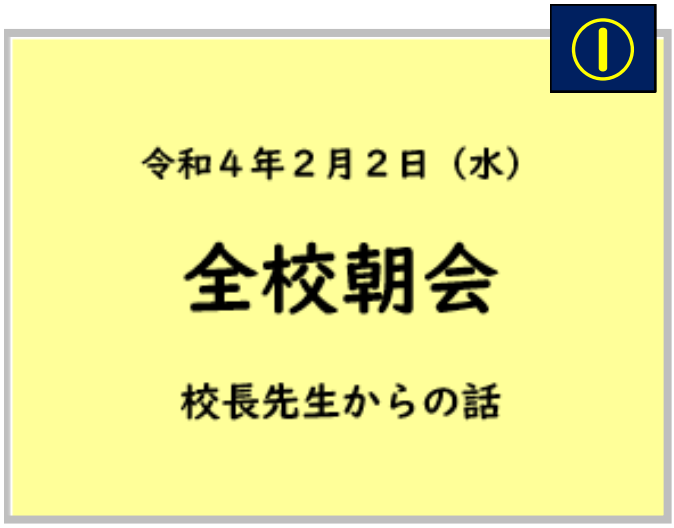
①昨日から２月が始まりましたね。昔の暦で、２月のことを**「如月（きさらぎ）」**とも言います。いろいろな説がありますが、厳しい寒さに備え、衣を更に重ねることから、「衣更着（きさらぎ）」とも言われています。

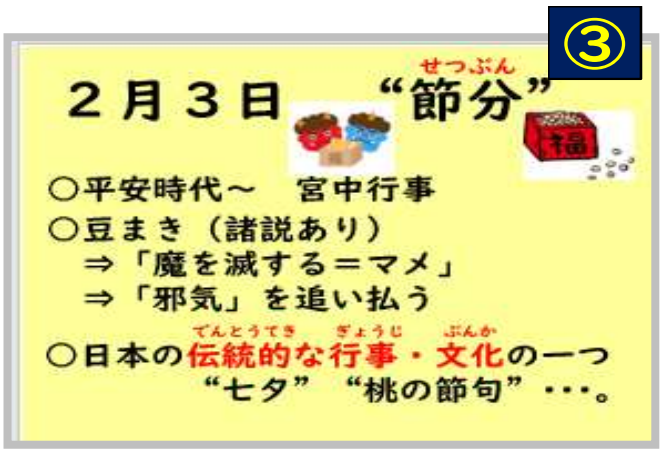
②このように暦や季節などには、昔から語り継いできたことがたくさんあります。では、ここでクイズです。２月３日と２月４日は何の日でしょう。そうです、**「節分」**と**「立春」**ですね。「立春」は暦の上では春の始まりを意味しています。「節分」では「鬼は外、福は内」と豆まきをしますよね。この「節分」や「豆まき」には、どんな意味があるのでしょうか。

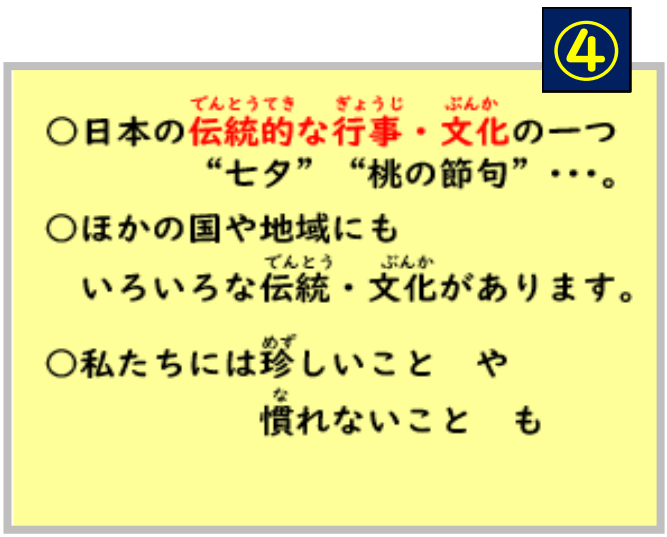
③「節分」は「季節を分ける」ことを意味しています。特に「立春」の前の日を指すことが多く、平安時代の頃からの宮中行事でした。1000年以上も前の頃の、かぐや姫の舞台となっている時代です。**「豆まき」**にも、いろいろな説がありますが、身の回りの良くないことの「魔」とそれほろぼすことの「滅」による**「魔滅（まめ）」**を使って、「邪気」を追い払うとも言われています。この節分の豆まきは、古くから伝わる**「伝統的な行事」**の一つです。長い歴史の中で人々が受け継いだ大切な**「文化」**と言えます。他にも、**「七夕」**やひな祭りの**「桃の節句」**など、伝統的な行事や文化はたくさんあります。

④さて、この大切な日本の伝統的な行事や文化ですが、**他の国や地域にも、いろいろな伝統や文化があります。**私たちに身近なものもあれば、珍しいものやあまり慣れていないこともあります。









⑤例えば、**「クリスマス」**。皆さんもよく知っていますよね。この写真はこの冬の児童玄関前に飾ったクリスマスツリーです。クリスマスは、キリスト教を信じる人たちにとって、イエス･キリストが誕生したとても大切な日の重要な行事です。次の画像は、ブラジルという国の**「カーニバル」**の様子です。見たり聞いたりした人もいるかも知れません。実は、校長先生は前に３年間ほど、この**ブラジルのマナオス**という町に住んでいたことがあります。ブラジルでは「カーニバル」はとても大切なお祭りで、毎年２月の約一週間、多くの人が集まりとても賑やかになります。特に、リオのカーニバルは１００万以上の人が観光に訪れ、多くの学校や会社はカーニバルの期間はお休みになります。ブラジルの多くの友人は「年に一週間のカーニバルを楽しむために、他の日に仕事をしている」と話します。その熱中する様子は、日本で生活していた私には不思議な感じがして、**広い世界ではいろいろな文化があるんだなぁ**と思いました。



⑥世界のいろいろな伝統や文化で言うと、**食べ物もいろいろ**です。この画像はなんだか分かりますか。ココナツの実から取り出したジュースをコップに注いでいます。私が３年間勤めていた学校のプールのそばには、ココナツやバナナの木がたくさんありました。のどが渇くととれたてのココナツの甘いジュースを味わっていました。ブラジルのアマゾンにはたくさんの種類の果物があって、中には初めて見るものもあります。



⑦これは何だと思いますか？　半透明な白いプニュプニュしたものの中に、カエルの卵のようなものが見えます。ブラジルの友だちが「食べてごらん」と勧めてくれましたが、初めての食べ物で少し戸惑いました。食べてみると甘い香りが口いっぱいに広がって、今まで食べた果物の中で一番おいしいと感じました。



⑧見たこともない食べ物を目にした時、戸惑うことは当たり前かも知れません。また、美味しいとか美味しくない、好きとか苦手とかは、人それぞれだから仕方がないことです。でも、だからといってその食べ物を食べることを「変だ」とか、「おかしい」、「間違っている」なんていうのは、どうかと思います。

この画像はなんだか分かりますか？　そうです。「**納豆**」と「**なまこ**」です。校長先生は大好きです。でも、私の外国人の友だちの多くは、初めて食べ物として見たとき、とても驚きます。そして何人かの友人は苦手にしています。だからといって、その食文化を否定はしません。「豆を腐らせた納豆を食べる日本の食文化は間違ってる」なんて言われると仲良くなんてなれそうもありません。



⑨これは**アメリカ合衆国オレゴン州の学校**の様子です。小学生が「友」という習字を書いています。もう一枚は、私がアメリカの中学生に社会科の授業をしているところです。校長先生は、ブラジルに住む数年前に３ヶ月ほど、アメリカ合衆国で暮らしたことがあります。



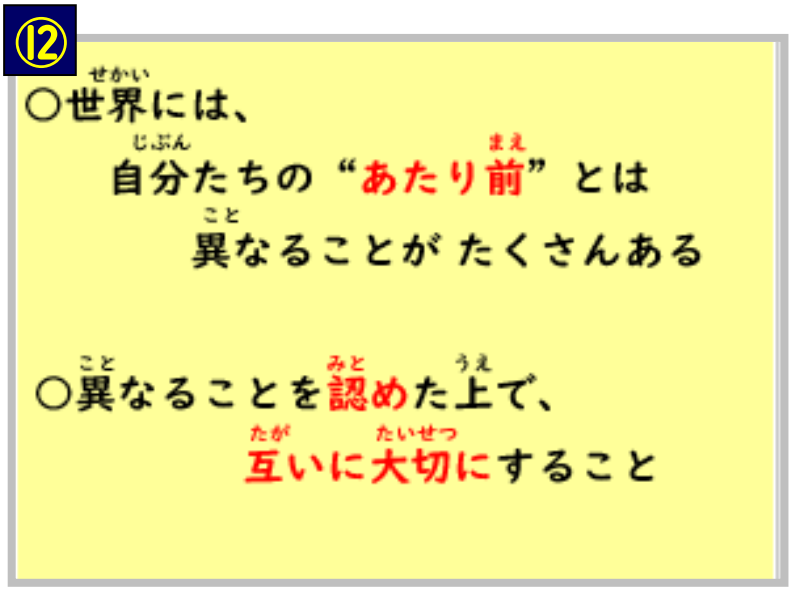
⑩その学校の近くの漁港では、たくさんのウニがとれていました。なんと、そのほとんどが飛行機で日本に運ばれます。そこで働いている人たちは、「このウニは築地に行くだよ」と自慢げに話してくれました。とその後に、「ところでウニって美味しいのかい？」と聞いてきます。実は、この頃アメリカ合衆国の多くの人はウニを食べる習慣がありませんでした。むしろ、そのトゲが魚の網を破るやっかいなものとして捨てられていました。



⑪皆さんはウニのお寿司は好きですか？もちろん苦手な人もいるでしょうが、日本でウニは高級な美味しい食べ物として、取り扱われることが多いです。そして、多くの日本人はウニを美味しく食べる習慣があります。確かに、見た目は少し変わっているかも知れませんが、もしも、ウニを美味しく食べる日本の習慣を「変だ」と否定されると、残念で、悲しい気分になると思います。自分たちのことを大切にされているとは思えません。



⑫こんな風に、伝統的な行事や文化、食べ物において、**自分たちの当たり前が、必ずしも世界中の当たり前でない**ということ。**自分たちの当たり前とは異なることがたくさんある**ということを、皆さんには分かって欲しいと願っています。　そして、その異なることを認めた上で、お互いを大切にすることが、相手や周りと本当の意味で仲良くなることだと思います。



⑬明後日、2/4 から中国の北京で冬のオリンピックが始まります。去年の東京オリンピックの冬の競技版です。世界には、200 以上の国や地域があります。ということは、その分だけそれぞれの当たり前があります。世界中の当たり前をお互いに大切にしあえるような未来をつくっていきたいですね。



⑭戸河内小学校では、２年前に高学年を中心に「**留学生交流会**」を開きました。たくさんの外国人留学生を招き、学んだ「英語」を使って初対面の外国の方と交流しました。それぞれのお国の伝統や文化、食べ物についてを英語で教えていただきました。



⑮５・６年生児童も、「**茶道**」や「**習字**」、「**けん玉**」や「**将棋**」そして「**和太鼓**」などの日本の文化や安芸太田町の自慢を英語で伝えました。これらの交流を通して、それぞれの**異なる文化を知り、違いを認め互いに大切にしようとする気持ち**が育っていくのだと思っています。今は、感染症対策などの関係で、こうした「留学生交流会」の開催が難しくなっていますが、いつの日か、このような機会がまたできればと思います。



⑯今日は、「節分」や「立春」、「クリスマス」や「カーニバル」のような伝統的な行事や文化、あるいは、珍しい食べ物を通して、いろいろな違いがあることを知ったと思います。その違いを知った上で、互いを大切にする、難しい言葉で「**尊重する**」と言いますが、お**互いを尊重することを積み重ねて、皆さん一人一人が、地球・世界へと視野を広げていくことを強く願っています。**

